

ベトナム人看護師が日本で就労継続する要因に関する文献検討

A Literature Review on Factors Affecting the Continued Employment of Vietnamese Nurses in Japan

○田中しげみ^{1,2}, 伊藤薫²

Shigemi Tanaka, Kaoru Ito

1 伊勢田中病院, 2 鈴鹿医療科学大学大学院

1 Ise Tanaka Hospital 2 Suzuka University of Medical Science Graduate School

【はじめに】

外国人看護師の受け入れ政策は、東南アジア諸国との自由貿易「経済連携協定（以下、EPA）」を契機に国の事業として始まった。2008年にインドネシア、フィリピン、2014年からはベトナムからの受け入れを開始した。

2024年に実施された第112回看護師国家試験合格率は、過去最高となり、インドネシア人候補者11.5%、フィリピン人候補者15.9%、ベトナム人候補者45.7%であり、ベトナム人候補者は高い合格率¹⁾を維持している。看護師国家試験に合格すれば、在留期間に制限なく日本で就労することができ、継続して日本に滞在することが期待されるが、数年で帰国してしまう現状がある。

そこで、本研究の目的は、「ベトナム人看護師（Vietnamese nurse）（以下、VNとする）」が日本で就労継続につながる要因を先行研究から、整理・統合し、VNの就労継続を促進する職場づくりを検討することである。

【方法】

対象文献の選定方法としては、医学中央雑誌を用いた。VNは、EPA開始以前から来日していたため、検索期間を設定せずに、「外国人看護師」と「ベトナム人看護師」をキーワードに検索を行い（会議録を除く）、VNに関連する文献を収集した。なお、ハンドリサーチにより、本研究の主旨に匹敵する内容も1文献追加を行った。検索は、2024年6月に実施し、文献の適格条件は、VNの就労継続につながる要因とした。

分析方法は、研究目的から導かれた結果と考察の内容において、VNの就労継続につながる要因に関する文脈を捉え、内容が1つの意味にまとまるコードを作成した。コードはできるかぎり論文中の表現を用い、内容が不足している場合には意味を損なわないように補い、類似性に基づいてサブカテゴリーにまとめ、サブカテゴリーの同質性に従って、カテゴリー化した。

【結果】

医学中央雑誌では、「外国人看護師」に関する112文献、「VN」に関する7文献が得られた。重複やVNの就労継続に関連のない文献を除くと、全体で9件となった。

VNの就労継続につながる要因として、4カテゴリー、9サブカテゴリーを生成した。カテゴリー内容は、『』とし、サブカテゴリー〔〕で示した。

『日本語能力の向上』

日本語能力の向上では、「発語能力よりも聞き取り能力が重要」と考える内容や、「発話能力が高いと日本で活躍したくなる」と示されていた。

『身近な上司や同僚の受け入れ』

身近な上司や同僚の受け入れでは、「職場のマネージャーや周囲の精神的なサポート」、「同僚看護師や患者・家族からの高い評価」であった。

『日本の生活への満足感』

日本の生活への満足感では、「給与の高さ」、「日本

人の友人の獲得とその支援」であった。

『ベトナム人看護師の気質』

VN気質としては、「粘り強さがある」、「日本の文化や習慣に合わせる能力が高い」、「1人1人がきちんとやる」であった。

【考察】

日本で働くVNの就労継続要因として、『日本語能力の向上』、『身近な上司や同僚の受け入れ』、『日本の生活への満足感』、『ベトナム人看護師の気質』の4つのカテゴリーが抽出された。

『身近な上司や同僚の受け入れ』は、VNと日本人看護師の間に立つメンターの存在が重要²⁾であり、受け入れ側の日本人看護師の意識改革も必要³⁾と考えられた。

また、『日本の生活への満足感』は、「日本人の友人の獲得とその支援」により、強いストレスがなく日常生活が送れ、患者・家族にも受け入れられていると感じることができ、異文化の適応を助ける⁴⁾と考えられた。

さらに、『ベトナム人看護師の気質』は、日本で働くことへの環境の変化や仕事の難しさに対して、「粘り強さがある」、「1人1人がきちんとやる」ことにより、同僚の看護師や患者からの評価も高く、組織の風通しがよくなる⁵⁾などのプラスの変化が示されていた。

つまりVNの就労継続できる職場は、日本人看護師にとっても、働きやすい職場となり、日本の看護組織風土の向上にもつながると考えられた。

【利益相反】

開示すべき利益相反はありません。

【引用・参考文献】

- 1) 公益社団国際厚生事業団 JICWELS. (2024, June 26) EPA 看護師候補者・介護福祉士候補者の合格率 <https://jicwels.or.jp/?p=53510>
- 2) 畑中香他. (2018). 在日外国人ケア労働者の異文化ストレス：外国人と日本人の協働に向けた異文化間インターメディエーターの役割. 日本ストレス学会誌, 33 (1), 45-56
- 3) 平野裕子他. (2021). 外国人看護師-EPAに基づく受け入れは何かをもたらしたのか. (pp. 218-236). 東京大学出版会
- 4) 平野裕子. (2020). 二国間経済連携協定に基づく外国人看護師の受け入れ-帰国者に見る現状と課題-, 多文化社会研究, 6, 459-468
- 5) 安留孝子. (2009). 介護・看護現場における外国人労働者のコミュニケーションに関する課題-ベトナム人看護師養成支援事業と経済連携協定 (EPA) による受け入れの比較を中心に. 流通経済大学論集, 44 (3), 19-30, 2009